

令和3年度・定時総会開催！

今年の定時総会は、昨年につき最小限の人数で開催されました。

当初は、各地区のリーダーに出席をお願いしていましたが、「緊急事態宣言」中により、急遽リーダーの出席も見合わせ、写真の通り、ソーシャルディスタンスをとった最小限の人数で行いました。

事業報告、決算・予算、事業計画、新任理事1名を加えた理事の選任も粛々と進められ、事業計画では、本年度のテーマである「会員の健康と安全」を確認しました。

これまでのように多くの会員が集い、永年表彰会員も皆さんと共に祝福できる定時総会が開催できることを祈りつつ、終了しました。



令和3年度・新役員体制



役職	氏名	備考(担当)
理事	近藤 忠男	正会員
常務理事	中条 正英	西宮市 OB
理事	安居 良貴	正会員(地区活動委員会)
理事	林 正樹	正会員(安全・適正委員会)
理事	野木 照子	正会員(会員増強委員会)
理事	橋本 弘	正会員(就業開拓委員会)
理事	前田 佳秀	正会員(広報・企画委員会)
理事	的場みつ枝	正会員(広報・企画委員会)
理事	望月 博	正会員(広報・企画委員会)
理事	岩崎 敏雄	西宮市
理事	清水 明彦	西宮市社会福祉協議会
監事	名和 康正	正会員
監事	吉川 郁夫	公認会計士

※退任理事 大西 研

永年会員表彰受賞者の声

《20年表彰》M会員 (瓦木地区)

この度、表彰のご連絡をいただき、いつの間にか20年も経ったのだと気付きました。

センター活動ではバス旅行など楽しい思い出ばかりです。

20年間で体調が優れない時にお休みをいただいたこともありましたが、みなさんに助けていただき、感謝しています。

これからも健康維持のため、今しばらく「広報紙配布」を頑張りたいと思います。



《10年表彰》T会員 (津門・今津地区)

西宮に住居を構えて早30年余り。シルバー人材センターにお世話になって、早いもので10年が経過しました。主に「広報紙配布」と「マンション清掃」をしています。お仕事ができることで毎日に生き甲斐を感じ、健康に留意し、今日まで頑張ってきました。

この度、ご褒美をいただくことになり、感謝しております。

会員のみなさまも、大変なこともあるでしょうが、忍耐強く続けていけば、心身ともに強くなれると思います。コロナ禍を乗り越えて、ひたすら前進しましょう。



5月末の 事業実績

※()は昨年比

- 会員数：2,191人(+20人)
- 事業高累計(含派遣)：121,188千円(+17,381千円)
- 就業実人員(含派遣)：1,551人(+93人)

センター 無事故 継続日数

- 就業中：20日
- 就業途上他：38日
(2021年5月31日現在)



●安全・適正委員会からのお知らせ●

- ★夏の始まり！熱中症に気をつけましょう！
- ★予防接種をしてもコロナ注意生活は続きます。
- ★7月1日～7日は「全国交通安全週間」です。
高齢者の自動車事故が多発しています。
自転車運転でも事故が増えています。
歩いていても油断はできません。
「右よし、左よし」の確認を！（安全・適正委員会）

就業現場風景

センターのオタスケマン【封入作業】

- 左から：M 会員（鳴尾地区）
- H 会員（浜脇地区）
- Y 会員（瓦木地区）
- S 会員（浜脇地区）
- O 会員（津門・今津地区）



毎月、会員のもとに送られる「月報」は写真の5人の会員の手によって封入、封緘作業を行っていただいています。「月報」の他に「お仕事のご案内」など、多い時には4~5種類にもなります。最初に郵便番号ごとの宛名ラベルを貼り、それに封入していきます。封入作業では数種類の書類を手の届く範囲に並べ、黙々と手を動かします。また、配分金明細書は就業者だけを選んで窓あき封筒に封入しなければなりません。最後に間違っていないか数合わせをし、封を閉じます。今では、みなさん手慣れた作業で、2,200余りの封入を5時間程で終わられます。地味ですが、心のこもった真剣な作業です。（事務局）

コロナ禍での過ごし方

世界のスポーツ大会
「ワールドマスターズゲームズ2022」の
出場に向けて
毎日無理なく一定の運動を
続けています!!

小島 裕会員（浜脇地区）



表彰式と
4年前ニュージーランド大会での
銅メダル



私は今年の11月で満90歳。西宮市シルバー人材センターの設立以来の会員で、香櫨園に住んでいます。私は、ほとんど毎日、夙川のオアシスロードを走ったり、歩いたりして、今も約1時間続けています。

60歳代は、1時間では物足りず、夙川河口から海岸沿いに芦屋浜方面まで走り込んだりしていました。

70歳代は、ジョキングを続けていました。

80歳代は、走り続けられず、歩きも入れ、近頃は歩きの方が多くなりました。

90歳を越えてフルマラソンを走る人。

100歳でシニア陸上大会の金メダリストなどスーパー老人が報道されています。そのような方々には心から感服して、敬意を表しています。

私は年齢相応に身体がおとろえ、心筋梗塞、腰痛や目の疲れに悩まされています。だからこそ無理をしないことにしています。それでも身体のためには運動は続けなくてはなりません。

「無理なく続けること、これが大切だと思っています。」

5歳刻みの年代毎に、競技できる世界のスポーツ大会「ワールドマスターズゲームズ」が2022年5月に関西で行われます。私はオリエンテーリングの男子90歳代クラスに参加すべく、コロナ禍でも毎日無理なく運動を続けたいと思っています。